

ご存じですか！文化財

68

市指定有形文化財 平成16年3月8日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 根古屋633-10

この兜は、平成元年に騎西城跡を発掘調査した際、堀の底に置いたような状態で出土しました。全体に黒漆が塗られ、つやのある漆黒の兜です。

兜の大きさは幅36cm、高さ14cmほどで、兜は鉄製の鉢と漆のみの部分でできています。正面にひさしがあり、その上に前立(飾り)を立てる台が取り付けられます。鉢は鉄板を16枚接合したもので「十六間」の名の由来となっています。

漆のみの部分は顔を守る吹返しと首を守るしころがあります。どちらも堅い革の小板(小札)を紐でとじつなげたも

のを黒漆で塗り固めています。400年ほどの時を経た今では、革は無くなり漆だけです。この兜は代々伝えられたものではなく、戦国時代に埋まったもので、修理・改変されていない、当時の様相をそのまま伝える貴重な資料です。また、兜は、拾われなかったこと、兜の形などから騎西城を攻めた武将のものという説もあります。その真偽の解明は今後の課題ですが、いずれにしても全形が分かる兜は、発掘調査で見つかった全国で唯一の例で、大変貴重なものです。

